

# なまずの会による地下水異常と地震との関係についての再調査

## Reinvestigation of correlation between groundwater anomalies and earthquakes carried out by an amateur network in Japan

\*織原 義明<sup>1</sup>、鴨川 仁<sup>2</sup>、長尾 年恭<sup>1</sup>

\*Yoshiaki Orihara<sup>1</sup>, Masashi Kamogawa<sup>2</sup>, Toshiyasu Nagao<sup>1</sup>

1. 東海大学海洋研究所、2. 東京学芸大学物理学科

1. Institute of Oceanic Research and Development, Tokai University, 2. Dpt. of Phys., Tokyo Gakugei Univ.

地震予知を目指した一般民間人による地下水観測のグループ「なまずの会」は1976年に始まった。神奈川県・東京都・静岡県の住民を中心に、のべ200以上の個人や団体が参加して主に浅井戸の水位観測が行われた。観測者は定期的に観測結果をハガキで事務局へ報告し、集計されたデータは神奈川県温泉地学研究所報告（観測だより）で公表された。この「観測だより」にある地下水観測データは、観測者ごとに日毎に異常あり・なしの形で示されている。「観測だより」にあるデータは1977年2月から1987年12月までの10年10ヶ月分である。期間中に地震先行異常を捉えたとする地震としては、1978年の伊豆大島近海地震（M7.0）、同年の宮城県沖地震（M7.4）などである。これらの地下水異常と地震との関係については、Oki and Hiraga (1988) で紹介されている。しかし、地震前に着目した分析が中心であり、異常あり・なしと、地震あり・なしとの4つの組み合わせすべてを比較した検証とはなっていない。そこで、本研究では「観測だより」に示されたデータを用いて統計的な検証を行うこととした。本発表ではその結果を報告する。

謝辞：本研究は東京大学地震研究所共同利用の援助を受けました。

キーワード：なまずの会、地震予知、地下水、統計的検証

Keywords: the catfish club, earthquake prediction, groundwater, statistical evaluation